
涙なんてただの水じゃない

こをり

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

涙なんてただの水じゃない

【Zコード】

Z21650

【作者名】

こもり

【あらすじ】

突然出てきた水の意味は？

(前書き)

相変わらず、支離滅裂

W

「泣いた所で何も解決しないんだから。
いい加減学習してよね」

タケルに言われた

よく分からぬいど涙が出てきたから唇を噛んで止めようと躍起になる
こういうときに限つて止まつてくれないんだようなあ
ああ、そつかこれは涙じやなくて水なんだ

「だいたい俺さあーお前の事好きじゃなかつたんだよな
何て言うかしようがねーなつて感じだつたし」

体の何割が水なんだつけ？それが全部なくなつたら私、どうなるん
だろ？

まあいいや。どうせこれから数日抜け殻みたいになつだけだもん
水を沢山消費すると思うから・・・うん帰り道にミネラルウォータ
ー買わなきゃ

「だからさー泣くのやめてくんない？
俺が悪いみたいじゃねえーか」

あ、携帯電話充電したかな？友達に明日の事聞かなきゃ
化粧とか・・・大丈夫よね？水には強いつて書いてたけど落ちてな
いかな？
はあ～明日もまた仕事だし

「あのさあ聞いてる?

俺が、別れたいって、壇つてんの」

最近仕事辛いんだよねえ。ババア達すつじくわぬれこし
ほとんどの友達は結婚していくし、いつの事も考えりよ(金が無
くなつていくう)

母さんも父さんもお見合この話ばっかり持つてくるからなあ

仕事、結婚、私の恋愛

あれ?ここつなんで「」にいるんだつけ?

私なんで田から水が出てるんだろう?

「だかられあー」

「ねえ」

「あ、?」

「帰つていい?田から水が止まらないから

「は、はあ!?おま、え?え?」

「別れたいんでしょ?つてか私達付き合つてたつけ?」

「意味わかんねえ事言つてんじゃねえ!—俺から告白しだらうが

!—」

「ふーん?」「だいたい俺さあーお前の事好きじゃなかつたんだよな
何て言つうかしようがねーなつて感じだつたし」···つてそつちの
が意味わかんない?」
「つ!ななな···ちげえーよ···」

「バイバイ、えーとサヨウナラが良いのかな?」

そう言つとタケルは真赤な顔をしてブチギレていた。

そのまま18禁へりこのじとを喋つてたナビ！」会社だつて分かつてゐるのかな？

ふと、視界の端に同僚がいてうすくまつていろ。

あの様子、じや死因は『笑いすぎ』だわ

「おおお俺の事と好きだつたんだら…?だから涙でてんじゃねえー
かー！」

「…いやだからコロ水だつて」

「てめえ！馬鹿にするのもいい加減にしゃがれ…。」

まだ何か言つてゐるけど手は出す氣はないみたい
まあ体ひょいといし、ほこ会社だもんね
でも、ほんと何で出てきたんだろう？

「あ、だからか」

「クソッタレ！…お前なんか \$# !!!!」

「ほんとバイバイ私コロを伝えなやせやー…」

「はあ…!…ってオイ…!…」

走つた。

私は走つて走つて、いつもはHレベーターなのに待つのすら我慢できなくて階段を使った

ああクソ！なんでヒールなんでものがこの世に存在するんだ…！

バーン…！

力ずくで思いつきり開けた扉
その先に見えたのは、あの頃と同じ青すゑのH。
場所は屋上。

私の愛しい人が飛んだ場所

「今日だつたんだ！今日だつた！…『ごめん、あのときの言葉忘れてたんだ！！』

大声で叫んだ言葉は喉を潰すくらいの声量で
誰もいない屋上で止まらない水を私は止めなかつた

タケルが言つていた

「泣いた所で何も解決しないんだから。
いい加減学習したら？」

この言葉に私の瞳は、脳は、記憶が反応したんだ

「あんたが、あんたが最後に言つてくれた言葉！
最後の、皮肉で、最後の・・・アドバイスだつたんだ」

ずっと忘れてたのは、あんたと一緒にその時の記憶が飛んだから
今、この瞬間に戻ってきた。戻つてくれた

「私も、連れてけよお」

大丈夫、嘘よ

まだ私はあなたに会えない。それくらい分かつてゐるから
泣かないつて決めた。今、決めた

「待つてて」

この言葉が、精一杯の強がり

(後書き)

この小説を読んではあ？と思つた方

それが普通です（笑）

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2165o/>

涙なんてただの水じゃない

2010年10月10日00時22分発行